

2010年8月30日

JARIP会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山・福田・清水・伊藤・河野

JARIP 2010年度第3回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。2010年度第3回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、藤澤 陽介氏（住友信託銀行）より、『ウォータールー大学・アクチュアリー学科での産学共同の実践』のテーマでご講演をいただきます。

講師は、ウォータールー大学の大学院修士課程へ留学経験があり、今回の研究会では、その留学経験に基づいた北米でのアクチュアリー教育をご報告いただきます。また、講師は、昨年、ウィスコンシン大学マディソン校で開催された 44th Actuarial Research Conference で企業年金の長寿リスクの定量化に関する論文発表を行っており、今回の研究会でその内容報告を行っていただく予定です。

当学会のメンバーにとってまたとない機会となります。

ご講演の後の質疑応答や意見交換を通じてさらに理解を深めていきたいと考えております。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第3回研究会

日時：2010年9月24日（金曜日） 15時から17時30分

場所：朝日生命大手町オフィス1階大会議室

（地下鉄大手町駅またはJR東京駅下車、徒歩5分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：藤澤 陽介（ふじさわ ようすけ）氏（住友信託銀行）

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：『ウォータールー大学・アクチュアリー学科での産学共同の実践』

1. ウォータールー大学の歴史
2. ウォータールー大学のアクチュアリー教育とCo-opプログラム
3. Actuarial Research Conference
4. 企業年金の長寿リスクの定量化

研究会講演要旨：

まず、Rob Brown、Harry Panjer、Phelim Boyle、Mary Hardy 等、著名なアクチュアリーを輩出したウォータールー大学のアクチュアリー教育の歴史を振り返ります。ウォータールー大学は、産学共同を強く意識した大学であり、インターンシップ等を通じて、如何にしてアクチュアリーを育成しているのか、実際の留學生活を通じた得た体験談をお話します。加えて、講師が留學中に参加した 44th Actuarial Research Conference (ARC) の概要を説明します。ARC は、大学の研究者と実務アクチュアリーが、最新の研究内容や問題意識について、意見交換し合う重要な場として位置付けられています。講師は、2009 年にウィスコンシン大学マディソン校で開催された ARC で論文発表していますので、その発表内容「IFRS Convergence: The Role of Stochastic Mortality Models in the Disclosure of Longevity Risk for Defined Benefit Plans」について、報告いたします。

2. 参加申し込み

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、

「9月24日（藤澤氏）の第3回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To : office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局)

Cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同 研究会担当：栗山晃)

迄お申込ください。

参加申込は9月17日（金曜日）迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて 1,000 円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承くださいたくお願い申し上げます。

以上

講師略歴：

藤澤 陽介（ふじさわようすけ）氏

住友信託銀行では、企業年金に係る数理計算業務や制度設計などの業務に従事。
ウォータールー大学大学院数学専攻修了。

朝日生命大手町ビル周辺地図

【朝日生命本社へのアクセス】

〒100-8103 千代田区大手町2-6-1
朝日生命大手町ビル

アクセス：JR東京駅八重洲北口改札を出て左に曲がり直進し、日本橋口より2分。または地下鉄大手町駅B6番出口より1分。

